

由木西小だより

地域運営学校
全人教育の実現をめざして

No.13 八王子市立由木西小学校

平成29年
2月5日

発行 学校運営協議会

会長 高麗茂樹
校長 那須郁夫

事務局 八王子市立由木西小学校
所在地 八王子市上柚木538-1
電話 042-676-8028
http://hachioji-school.ed.jp/yugne/

放課後子ども教室の節分で「アメまき」がありました。豆より
飴が人気で、まかれた物を拾い直して食べる趣向がおもしろい。
豆まきは「鬼は外」の邪気払いですが、「鬼は内」と言う所が
あります(杉並某所ほか)。追い払われた鬼を呼び直して保護し、
逆に運気を頼むという。疎外されたものに寄り添い、認め合っ
て生きる「心のバリアフリー」に通じるようでほのぼのとします。

学校運営協議会(学運協)

例会 毎月第2木曜日 19時-21時
構成 委員10名 事務局 4名
場所 由木西小学校図書室

開校記念 オープンキャンパス

グリーンファミリーズ カタクリの森 整備

2月19日(日)10時~11時30分

長池公園自然館長内野秀重先生をお招きして学校林「カタクリの森」整備研修会を行います。
カタクリの花は3月末頃咲くので、芽吹くまでの2月中に群生地の下草刈り・落ち葉掃きをします。

可憐なカタクリの
開花を想い描き
ながら、早春間近
のこもれびの中で
一緒に汗を流して
みませんか。



- 開校記念日は2月7日ですが、2月4日(土)に行われました。
- ①記念講話 那須校長から市政百周年にちなみ、輝かしい伝統を誇る由木西小のさらなる発展を期し、未来に向かって進んでいきたいという話と、元本校教諭遠藤 正先生から旧・現校舎移転期の思い出の中で世界につながる活動がしたいという話がありました。
 - ②公開授業&由木西小合唱団発表 公開授業後、由木西小合唱団は自信に満ちた歌声(一部保護者参加)を披露し大喝采でした。
 - ③パネルディスカッション テーマ「自尊感情を育む」。(参加36名)
コーディネーター：大塚千尋様(日本ビジネス道德協会)
講師：塚島敬一郎先生(明星大学非常勤講師・本校学運協委員)
パネラー：本校教職員・保護者代表〈学校・家庭・地域の実践から〉

地域の歴史・文化

毎年この時期、小3児童が上柚木・鎌水の史跡を訪ねます。

2月8日(水)、上柚木丘の空中戦慰霊柱、明治期伝染病記念碑、上柚木会館を小沢安男委員と地区有志の方の案内で見学します(今回防空壕見学 可)。

2月16日(木)、鎌水板木の小泉家屋敷を見学します。明治11年建築の入母屋造りの萱ぶきで東京都有形民俗文化財に指定されている貴重な史跡です。

学校林等自然に触れて本物の感性を養う活動、持ち味を活かし自信顔を引き出す活動、みんなが自分の子と思える地域づくり、健康づくりなど、由木西小ならではの「こころ」の育ちが期待されるという話でした。
由木西小の子は自尊感情が高いという講評を頂きました。

裏山の空中戦

「由木西小百四十年史」に「昭和20年、戦争が激化し旧由木西小・西分教場は兵舎になった」とあります。この学校跡地の東方裏山畑地に空中戦慰霊の標柱があります。近くに防空壕もあります。

東京大空襲の直前(1945年2月)、上柚木上空で旧日本軍ゼロ戦1機と米軍グラマン約20機の空中戦が勃発。尾翼破損のゼロ戦は上柚木丘の畑に墜落し3分程地中で20歳前の兵士が即死(慰霊柱)。グラマン1機は鎌水板木の畑に墜落。米兵は落下傘で脱出・捕虜(不明)。

身近な所に戦争惨禍をリアルに語るスポットが守られています。

・鎌水歴史研究会編「ふるさと鎌水」H27。
・由木つむぎの会「語り継ぐ戦争の話」第92号。

本 平和記念誌

八王子市教委生涯学習スポーツ部文化財課等多摩26市の関係部署共同編集誌「東京多摩26市の戦争の記憶・平和への取り組み」が「想いをつなぐ」が発行されました(H28)。

各市の戦跡マップ、語り部体験談、平和への取り組みなどが掲載されています。八王子では八王子空襲、高尾駅銃弾跡、相即寺ランドセル地蔵など。

笑いの効用

由木西小は「平成28年度全国健康づくり推進学校優良校」に選ばれました。学校・保護者・地域の連携・協力による成果です。

さらに学校・地域の健康づくり推進に向けて1月14日(土)、内科校医の森脇弘隆先生をお招きして「健康フォーラム」(「笑いの効用」講話)が開かれました。

「笑い」は健康・共同生活にとっても重要であるという話でした。医学的な実験データや臨床例に基づき、分かりやすくユーモアたっぷりの話に一同は笑いを誘われて聞き入りました。

「愛は微笑むことから始まる」(マザー・テレサ)が強調されました。